

皆さんおはようございます。いよいよ今週で7月も終わりです。そして、短い夏休みとなりますが、夏休みまであと2週間です。

さて、この写真を見てください(写真)。何をやっているところでしょうか?わかりますか?正解は、サッカーの応援をしているところです。サッカーのサポーターという応援団の人たちが応援しているようすです。(写真)2年前にサッカーワールドカップという世界の大会がありました。2年前といえば、1年生が年中さんの時、3年生が1年生の時です。つぎにこの写真を見てください(写真)。この白い服の人が持っているものは何でしょうか?正解は、ゴミです。サッカーの試合が終わると、応援席は、食べ物や飲み物のごみがたくさん落ちているそうです。サッカー場には、ごみを掃除する人がもともといますので、普通はそのごみ掃除の人が掃除をします。次にこの写真を見てください(写真)。何をしているのでしょうか?正解は、ゴミ拾いです。普通は、ゴミを拾う仕事の人がいるので、お客さんは試合が終わればすぐに帰ってしまいます。ところが、日本人のサポーターは、試合が終わっても、会場に残って、掃除をし始めたのです。これは、外国でやっていた試合です。見ていた外国人の人から、どうしてなんだ?なぜそうじをしているんだ?という驚きの声のほかに、日本人はなんてすばらしいんだ!という応援や感動の声がニュースで世界中に伝わったのです。日本人のサポーターは、誰かに言われてお掃除を始めたのではなく、自分たちから、自分のごみは持ち帰ろう、自分たちで使ったところはきれいにしていこう、どうせだったら、ほかのところもきれいにしまおう、ということになったのだと思います。こういう気持ちになれたのはどうしてでしょうか?校長先生は、こう思います。それは、小学校の時から、学校の掃除を毎日して、自分のことは自分でしょう、自分で使う教室は自分たちできれいにしよう、というのがしっかりとできていたからだと思います。学校の掃除をすること、それから給食当番がいて、自分たちのお昼は自分たちで運ぶこと、これは、外国の小学校にはないことです。日本くらいです。このことが今、日本の学校はすごいと、世界から言われているんです。少し話がずれましたが、1学

期をもうすぐ終わるという中で、サッカーが終わった後の会場をきれいにするサポーターの姿から、皆さんが、教室や自分の机、ロッカーをきれいにする姿を想像できます。きつときれいな教室にして 1 学期が終わるんだろうな。そして、気持ちよく夏休みになるんだろうな。夏休みまで、あと2週間、教室をしっかりときれいにしましょう。

立つ鳥後を濁さず、ということわざがあります。池にいる鳥は、飛び立った後の場所はとてもきれいである、ということから、「自分のいた場所を離れるときには、前よりもきれいにしていこう」という意味で使います。

最後に、今週のことばです。今週のことばは、立つ鳥後を濁さず、教室をきれいにしようです。

残り 5 日間を大切に使い、気持ちよく夏休みを迎えましょう。

これで、校長先生のお話を終わります。

た とり あと にご
立つ鳥後を濁さず